

授業計画 【第15回】	まとめ
授業の到達目標	わが国の制度上の会計システムを理解する【知識・理解】 コンピュータを利用した簿記システムを理解し、実際に企業の事務部門において行われている経理処理が出来るようになる。併せてコンピュータ会計検定に合格する。【汎用的技能】 地域企業が求める即戦力としての知識・技能を有する人材となる。【態度・志向性】
学修成果との関連	6. 地域社会への貢献に必要な知識・技能を有する。
授業時間外学習【予習】	授業で行う個所に目を通しておく。前回までに行った個所を復習しておく（30分程度）。
授業時間外学習【復習】	授業時間内に終了できなかった部分については、コール・ラボ室において入力等を行い、次の回の授業に備えること。また、授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理する。これらを行うには1時間程度の復習は必要である。
課題に対する フィードバック	検定試験の受験結果や解説を、最終授業時間に行います。
評価方法・基準	授業時の提出物50%、定期試験または検定試験50%
テキスト	『コンピュータ会計検定過去問題集』（全国経理教育協会）令和6年版
参考書	『コンピュータ会計基本テキスト』（実教出版）令和6年版
備考	履修者はコンピュータ会計能力検定試験を全員受験します。